

# Dummy Camera プロバイダ

Version 1.1.0

## ユーザーズ ガイド

Sep. 13, 2018

【備考】

**【改版履歴】**

バージョン	日付	内容
1.0.0	2015-09-01	初版.
1.0.1	2016-12-26	概要のインストーラー関連の記述を削除.
1.1.0	2018-09-13	CaoController クラスのシステム変数追加. {@ERROR_CODE,@BUSY_STATUS,@NORMAL_STATUS,@CURRENT_DATETIME,@RANDOM}

## 目次

1. はじめに.....	4
2. プロバイダの概要 .....	5
2.1. 概要.....	5
2.2. メソッド・プロパティ.....	6
2.2.1. CaoWorkspace::AddController メソッド.....	6
2.2.2. CaoController::AddFile メソッド.....	6
2.2.3. CaoController::AddVariable メソッド .....	7
2.2.4. CaoController::get_VariableNames プロパティ.....	7
2.2.5. CaoVariable::get_Value プロパティ .....	7
2.2.6. CaoVariable::put_Value プロパティ.....	7
2.2.7. CaoFile::get_Value プロパティ.....	7
2.3. 変数一覧 .....	8
2.3.1. コントローラクラス.....	8
2.4. ini ファイルの設定 .....	9
2.4.1. サンプルファイル.....	9

## 1. はじめに

本書は Dummy Camera プロバイダのユーザーズガイドです。

Dummy Camera プロバイダでは、実際のカメラに接続せず、ダミーのカメラに接続して、カメラ各値の取得/設定をシミュレートすることができます。

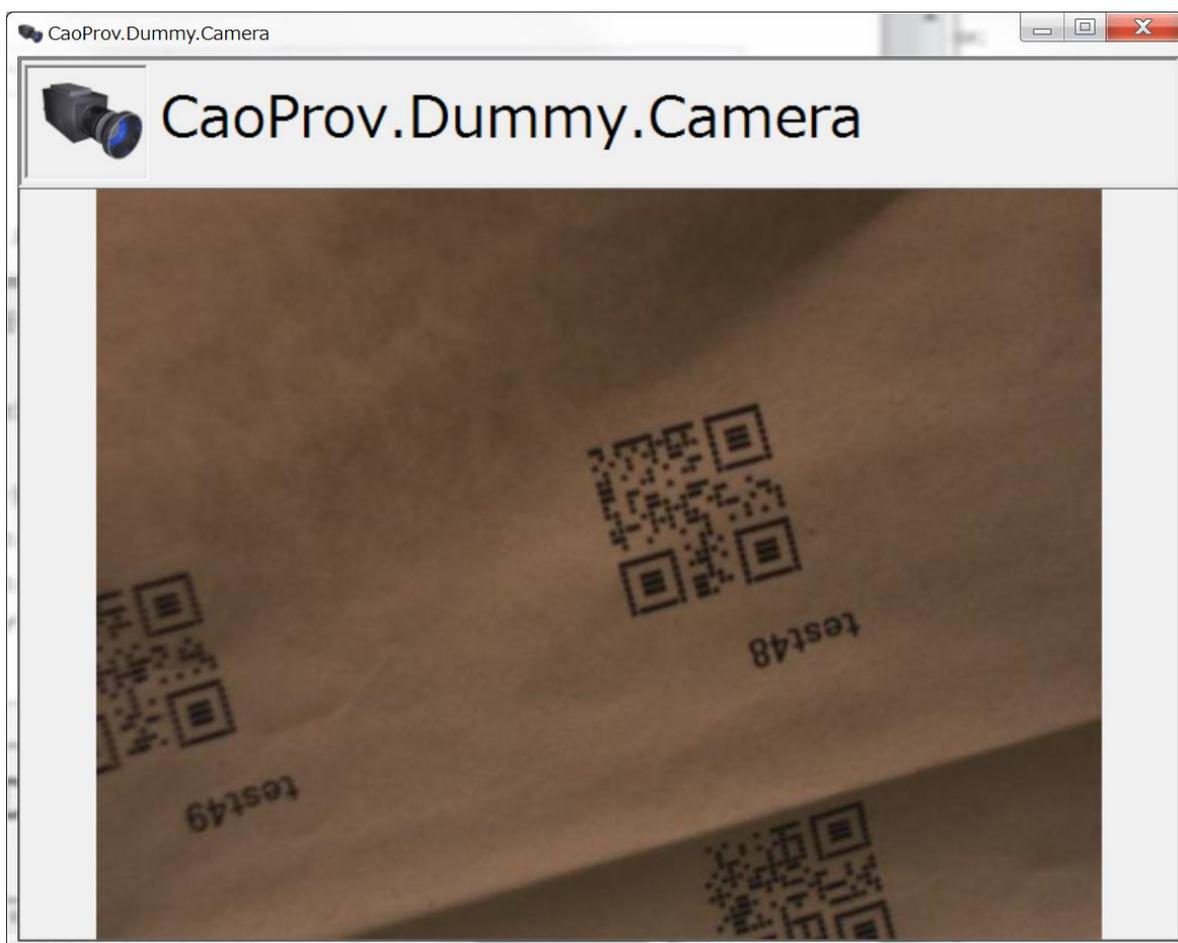


図 1 Camera 用ダミープロバイダの画面

## 2. プロバイダの概要

### 2.1. 概要

Dummy Camera プロバイダは、ダミーの web カメラに接続し、データの取得、ダミーカメラのデータを確認する機能を提供する CAO プロバイダです。

そのファイル形式は DLL(Dynamic Link Library)であり、CAO エンジンから使用時に動的にロードされます。

表 2-1 Dummy Camera プロバイダ

ファイル名	CaoProvDummyCamera.dll
ProgID	CaoProv.Dummy.Camera

## 2.2. メソッド・プロパティ

### 2.2.1. CaoWorkspace::AddController メソッド

Dummy Camera プロバイダでは AddController メソッド実行時に渡されたパラメータを参照し、ダミーのカメラと接続を行います。



```
AddController(<bstrCtrlName:BSTR>,<bstrProvName:BSTR>,  
              <bstrPcName:BSTR> [,<bstrOption:BSTR>])
```

<bstrCtrlName> : [in] コントローラ名  
接続単位で重複しない任意の文字列を指定します。  
※異なるアプリケーションや別 PC から同一の名前を指定した場合は  
エラー(0x80000205)になります。  
空文字列(“”)を指定した場合、CAO エンジンが自動的にユニーク  
なコントローラ名を割り当てます。

<bstrProvName> : [in] プロバイダ名. 固定値 =”CaoProv.Dummy. Camera”.

<bstrPcName> : [in] プロバイダの実行マシン名  
リモート接続する場合の PC 名を指定.通常のローカル接続の場合  
は空白文字列(“”)を指定.

<bstrOption> : [in] オプション文字列 (未使用)

### 2.2.2. CaoController::AddFile メソッド

CaoController クラスの AddFile メソッドの引数は、ファイル名(BSTR 型)を指定します。ここで指定する"ファイル名"は、任意のファイル名を指定します。



```
AddFile ( <bstrName:BSTR > [,<bstrOption:BSTR>] )
```

<bstrName> : [in] ファイル名

<bstrOption> : [in] オプション文字列 (未使用)

### 2.2.3. CaoController::AddVariable メソッド

CaoController クラスの AddVariable メソッドは、変数にアクセスするためのメソッドです。Dummy Camera プロバイダでは、変数名には CaoController::get\_VariableNames プロパティにより取得可能な変数を指定することができます。変数名に関しては 2.3 変数一覧を参照ください。

**書式**      AddVariable( <bstrName:BSTR > [,<bstrOption:BSTR>] )  
                 <bstrName>                      [in] 変数名  
                 <bstrOption>                    [in] オプション文字列 (未使用)

### 2.2.4. CaoController::get\_VariableNames プロパティ

Dummy Camera プロバイダが実装する変数名一覧を配列として取得します。

**書式**      VariableNames( [<bstrOption:BSTR>] )  
                 <bstrOption>                    [in] オプション文字列 (未使用)

### 2.2.5. CaoVariable::get\_Value プロパティ

オブジェクトに対応している変数の値を取得します。

### 2.2.6. CaoVariable::put\_Value プロパティ

オブジェクトに対応している変数の値を設定します。

### 2.2.7. CaoFile::get\_Value プロパティ

CaoController::AddFile メソッド実行時のキャプチャ画像をバイト型配列で取得します。

## 2.3. 変数一覧

### 2.3.1. コントローラクラス

表 2-2 コントローラクラス システム変数一覧

変数名	データ型	説明	属性	
			get	put
@CURRENT_DATETIME	VT_DATE	現在時刻	○	-
@BUSY_STATUS	VT_BOOL	true=プログラム動作中, false=プログラム停止中	○	-
@NORMAL_STATUS	VT_BOOL	true=正常, false=異常(エラー発生中) (ダミー動作のため, 常時 true)	○	-
@ERROR_CODE	VT_I4	発生中のエラーの番号を 10 進数の値で取得します. エラーが発生していない時は, 0 を返します. (ダミー動作のため, 常時 0)	○	-
@RANDOM	VT_R8	0.0~1.0 のランダムな値を返します.	○	-
@Image	VT_ARRAY   VT_UI1	キャプチャ画像を取得します.	○	-
@Pause	VT_BOOL	true=web カメラ一時停止, false=web カメラ再生	○	○

## 2.4. ini ファイルの設定

ダミーの web カメラの出力映像として連番画像を ini ファイルの data セクション内にて設定・変更することができます。連番画像データの各画像ファイル名は連番となる数字を内部にもつ一連のフォーマットで指定してください。

設定が記載されている ini ファイルは以下のパス上に存在します。

```
" <ORiN2 SDK インストールフォルダ>%CAO%ProviderLib%Dummy%Bin%Camera.ini"
```

[data]

datapath=<連番画像データが存在しているフォルダへのパス>

interval=<次連番画像データを表示するまでのインターバル(ms)>

filenameformat=<次連番画像ファイル名のフォーマット>

### 2.4.1. サンプルファイル

#### Camera.ini

[data]

```
datapath=%Camera.Data
```

```
interval=100
```

```
filenameformat=img{0:00000}.jpg
```